

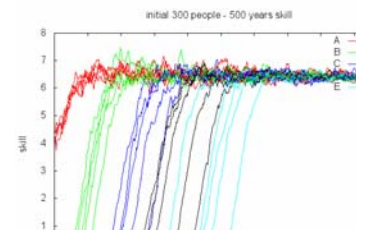
近年の研究紹介

松本直子 2014.10.10

縄文・弥生社会の人口変動と文化変化

考古学的データから人口動態や文化変化について検討するとともに、エージェントベースのシミュレーションによって人口動態と文化情報、遺伝情報の伝達パターンについて検討しています。縄文遺跡の発掘調査により、古環境や生業に関する新しい情報も得ています。

Naoko Matsumoto and Mariko Sasakura 2014 Cultural and genetic transmission in the Jomon-Yayoi transition examined in agent-based demographic simulation. Paper presented at Simulating the Past to Understand Human History, Social Simulation Conference 2014, Barcelona.



文化的技能拡散のシミュレーション



認知考古学・ジェンダー考古学

人類の認知進化、縄文から弥生への認知的変化について研究しています。ジェンダーの視点から縄文社会をいかに復元するか、また考古学の研究成果をどのように現代社会に還元すべきかについても追求しています。

- 松本直子 2008 「男女関係の変化とその背景」『弥生時代の考古学 7 儀礼と権力』設楽博己・藤尾慎一郎・松木武彦編 169-182 頁 同成社
- 松本直子 2012 「縄文の思想から弥生の思想へ」『日本思想史講座 1 古代』荻部直・黒住真・佐藤弘夫・末木文美士・田尻祐一郎編 27-64 頁 ぺりかん社
- 松本直子 2013 「考古学で探る心の進化」『心と行動の進化を探る—人間行動進化学入門—』五百部裕・小田亮編 131-164 頁 朝倉書店

受験生へのメッセージ

考古学は本来学際的な性格の強い分野です。考古学特有の研究手法をしっかりと身につけたうえで、なぜ文化や社会が変化するのかについて独創的な視点から考えてみたいという人、ぜひ一緒に研究しましょう。